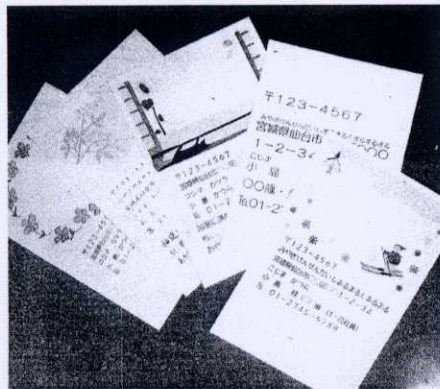


ハガキ懸賞



ハガキ応募は手間がかかるので、書くことが苦にならない、筆まめだ、イラストを描くのが好き、また、月に数千円のハガキ代がかけられるという人向け。ベルマークを集めているという人もハガキ懸賞はおすすめです。

キャンペーン専用の応募ハガキを使う場合は、50円の切手が必要ですが、ただ多くの懸賞では、必要事項が記入されていれば官製ハガキでの応募でOK。必要事項を記入したら、あとはデザインで見た目の違いを強調させるのがコツ。「デザインは自分で描くのが一番なのですが、スタンプやシールなどで飾りつけするのもいいですね」(小島さん)。年賀状作成ソフトには千支以外のイラストが入っている、絵心のない人でも大



小島さん制作の応募はがき。愛好のハガキソフト「筆まめ」[筆自慢]で制作しています。

丈夫。年間を通して使えるイラストを使って季節に合わせたハガキを作っておくとても便利。「抽選する側の目をひく可能性も高いといえます

ハガキ代はこうして節約

エコハガキを使用

ハガキの一部を広告スペースにすることに、通常より5円安い45円で販売されるハガキのこと。広告主が現れない限り発売されないのが難点。つまり、発売日が不定期、発売されてもすぐに売れてしまうのです。広告地域限定で発売されるエコハガキもあるので、地元郵便局でチェックして。

ミニレターで

郵便書簡という値段は60円。書き込みができるうえ、封筒の役目も果たせる、バーコードやふたなどを封書で送る場合は使い勝手大。ただし、25gを越えると定形外郵便扱いになり、最低でも120円かかってしま



うことになるので注意して。

金券ショップで購入

ハガキは50円より安く購入できます。1枚48円が相場だとか。2円の差額とはいえ、まとめてハガキを購入するとずいぶんお得に。店によっては私製ハガキと50円切手の10組セットを500円未満で販売しているところもあるとか。

書き損じのハガキはムタにしない

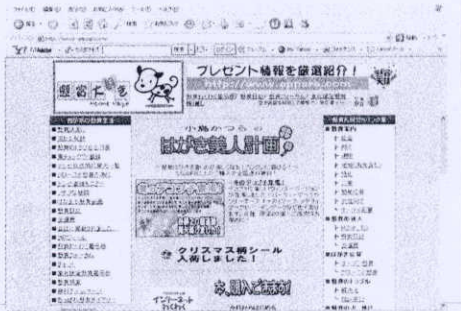
書き損じのハガキは一枚につき50円の手数料で交換してもらえます。郵便局の窓口へ持って行って、ムタを最小限に抑えましょう。

ね」(小島さん)。また、住所、名前、年齢、職業、電話番号を入れた応募ハガキを作っておけば、時間と手間の省略に。

ホームページや本も参考に!

小島さんのホームページ「懸賞大好きホームページ」(<http://www.k-daisuki.com/>)には当たる秘訣がいっぱい。懸賞フォーラムは、懸賞を楽しむ人たちのコミュニティ。疑問や不安に関しては小島さんが丁寧に回答しています。また、著書『今日からはじめるインターネットわくわく懸賞生活』も参考に(翔泳社発行)。1470円。

インターネットわくわく懸賞生活



当たる確率アップの7か条

- 1 全国規模より地元系の懸賞を**
全国規模の懸賞の場合、応募して行く人も多数にのぼります。逆に、新聞の地方版や現地のスーパー主催の懸賞は、応募数は全国規模のものより当然少なく、競争率は低くなります。
- 2 第1回応募締め切り日に合わせて送付**
クローズド懸賞やネット懸賞で長期間にわたる場合は何度も締め切りがあります。この場合、第1回目の締め切り日に間に合わせるようにすると、当たる可能性も大きくなります。
- 3 コメントは自分の言葉で**
思ったことを素直に書く
例えば、番組に対するご意見を書くという懸賞の場合、「お天気ニュースの景色がよかった」「出演者のネクタイが似合ってた」など、思ったことを素直に書くことが大切。クレームでもかまいませんが、最後に「改善に期待します」などのフオーの一言を。
- 4 懸賞サイトの掲示板で情報をゲット**
懸賞関係のホームページにある掲示板には懸賞好きが集合。例えば先着順のプレゼントや全員プレゼントの情報がいち早く掲載されていることも。懸賞マニアの口コミ情報をゲットしたい!
- 5 ハガキは楷書で丁寧に、難しい漢字・読みにくい地名・名前はふりがなを**
ハガキで応募する場合、丁寧に書いたほうがやっぱり好印象に。また、読みにくいハガキは抽選以前にはじかれてしまうので、読みにくい住所や名前前は、ふりがなも忘れず、都道府県からわかりやすく。
- 6 住所の登録は正確に**
ネット懸賞で記載事項を入力する際、住所を間違える人は結構多いです。住所を入力したら、必ず見直して。懸賞に当選し賞品を送送したのに、住所不明、転居先不明で戻ってきてしまうことが多いのです。
- 7 ハガキ懸賞では複数の住所を使い分ける**
ハガキ懸賞の場合、ひとつの名義で何通も応募できます。同じ懸賞に複数応募する際には、自分以外に、実家や兄弟姉妹の家など、いくつかの名前と住所を使いこなせば当選確率もアップ!